

広島市報

号外第11号
令和3年10月8日発行所
広島市役所
(企画総務局法務課)

広島市中区国泰寺町一丁目6番34号

公営企業の業務状況の報告

公 告

令和3年9月14日

地方公営企業法（昭和27年法律第292号）第40条の2の規定に基づき、広島市水道事業、広島市下水道事業及び広島市安芸市民病院事業の業務の状況を次のとおり公表します。

広島市長 松 井 一 實

目 次

○令和2年度第2回広島市水道事業の業務状況……………	1
○令和2年度第2回広島市下水道事業の業務状況……………	6
○令和2年度第2回広島市安芸市民病院事業の業務状況……………	12

令和2年度第2回広島市水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和2年度下半期（令和2年10月1日から令和3年3月31日まで）における水道事業の概況は、次のとおりです。

(1) 給水の状況

ア 給水戸数及び給水人口

今期における給水戸数は59万1,591戸、給水人口は123万2,249人で、これを令和元年度同期と比較すると、給水戸数では4,859戸（0.8%）の増加、給水人口では1,053人（0.1%）の減少となっています。

区 分		令和2年度	令和元年度	比 較	
		下 半 期	下 半 期	増 △ 減	増減率(%)
給水戸数	戸	591,591	586,732	4,859	0.8
給水区域内人口(A)	人	1,253,824	1,255,173	△ 1,349	△ 0.1
給水人口(B)	人	1,232,249	1,233,302	△ 1,053	△ 0.1
普及率(B/A)	%	98.3	98.3	0.0ポイント	—

イ 給水量

今期における給水量は6,695万310立方メートル、一日最大給水量は41万5,818立方メートルで、これを令和元年度同期と比較すると、給水量では6万8,822立方メートル（1.0%）の増加、一日最大給水量では

3万4,051立方メートル（8.9%）の増加となっています。

区 分		令和2年度	令和元年度	比 較	
		下 半 期	下 半 期	増 △ 減	増減率(%)
給 水 量	m ³	66,950,310	66,261,488	688,822	1.0
一日平均給水量	m ³	367,859	362,085	5,774	1.6
一日最大給水量	m ³	415,818	381,767	34,051	8.9

(2) 主要施策の実施状況

ア 安全でおいしい水の供給

水質管理体制の強化として事業費7,285万9,586円で、水質計器及び水質検査機器の整備等を行いました。

安心な水の安定供給として事業費4億6,870万693円で、4,844メートルの配水管路の整備等を行いました。

環境負荷の低減として事業費8,342万6,250円で、太田川源流の森の整備等を行いました。

事 業 内 容		令和2年度 事業費 (実績)	うち 今期事業費
安全でおいしい水の供給		円 624,986,529	円 54,694,553
水質管理体制の強化		72,859,586	7,484,065
水質監視・保安体制の確保	水質計器の整備等	29,792,243	1,561,731
水質検査体制の強化	水質検査機器の整備等	33,186,886	5,922,334
残留塩素濃度の低減・監視	坪井受水場次亜塩素素注入ポンプの整備等	9,880,457	0
安心な水の安定供給		468,700,693	42,342,906
配水施設の機能向上	配水管路の整備等	468,700,693	42,342,906
環境負荷の低減		83,426,250	4,867,582
水源かん養林の整備	太田川源流の森の整備等	4,867,582	4,867,582
流域自治体との連携	太田川流域水源涵養推進協議会への負担金	1,426,000	0
省エネルギーの推進	八木取水場受変電設備の整備等	77,132,668	0

イ 水道施設の更新・改良

施設の更新・改良として事業費26億7,218万6,641円で、施設の統廃合の関連整備及び取水・浄水・配水施設の更新・改良等を行いました。

管路の更新として事業費31億8,607万9,366円

で、2 万 4、2 4 8 メートルの鋳鉄管・ビニル管の更新等を行いました。

事 業 内 容		令和 2 年度 事 業 費 (実 績)	うち 今期事業費
		円	円
水道施設の更新・改良		5,858,266,007	200,053,391
施設の更新・改良		2,672,186,641	199,593,488
浄水・配水施設の統廃合	施設の統廃合の関連整備等	576,767,197	0
構 造 物 の 更 新・改良	山田第一調整池の整備等	799,354,398	0
機械及び電気設備の更新・改良	高陽取水場中央監視制御装置の整備等	1,296,065,046	199,593,488
管路の更新		3,186,079,366	459,903
管路の更新	鋳鉄管・ビニル管の更新等	3,126,352,548	0
漏水防止の推進	漏水防止調査	59,726,818	459,903

ウ 災害対策の充実

水道施設の耐震化として事業費 2 億 1 3 万 9、6 7 3 円で、耐震補強工事等を行いました。

バックアップ機能の強化として事業費 1 3 億 4、7 0 3 万 4、5 9 6 円で、相互連絡管の整備等を行いました。

応急対策の推進として事業費 3、5 8 5 万 3、0 0 4 円で、応急給水用資機材の整備を行いました。

事 業 内 容		令和 2 年度 事 業 費 (実 績)	うち 今期事業費
		円	円
災害対策の充実		1,583,027,273	59,201,092
水道施設の耐震化		200,139,673	5,167,128
構造物の耐震化	山田第一調整池の耐震補強等	138,371,362	5,167,128

ア 収入

区 分	令 和 2 年 度		執行率	令和元年度	比 較	
	最終予算額	決 算 額		決 算 額	増 △ 減	増減率
水 道 事 業 収 益 (A)	円 25,502,426,000	円 24,834,865,443	% 97.4	円 26,207,644,088	円 △ 1,372,778,645	% △ 5.2
営 業 収 益	22,601,944,000	22,137,140,739	97.9	22,961,444,597	△ 824,303,858	△ 3.6
給 水 収 益	20,654,965,000	20,246,461,145	98.0	20,507,585,766	△ 261,124,621	△ 1.3
受 託 工 事 収 益	430,845,000	381,911,100	88.6	923,424,598	△ 541,513,498	△ 58.6
そ の 他 の 営 業 収 益	1,516,134,000	1,508,768,494	99.5	1,530,434,233	△ 21,665,739	△ 1.4
営 業 外 収 益	2,879,145,000	2,692,012,713	93.5	3,179,420,519	△ 487,407,806	△ 15.3
特 別 利 益	21,337,000	5,711,991	26.8	66,778,972	△ 61,066,981	△ 91.4

イ 支出

区 分	令 和 2 年 度		執行率	令和元年度	比 較	
	最終予算額	決 算 額		決 算 額	増 △ 減	増減率
水 道 事 業 費 用 (B)	円 25,138,417,000	円 23,926,266,085	% 95.2	円 24,098,201,606	円 △ 171,935,521	% △ 0.7
営 業 費 用	22,797,197,000	21,848,173,876	95.8	22,137,988,271	△ 289,814,395	△ 1.3
職 員 給 与 費	5,114,222,000	4,942,886,747	96.6	4,978,550,879	△ 35,664,132	△ 0.7

重要給水施設への配水管路の耐震化	災害拠点病院等への配水管路の耐震化	61,768,311	0
バックアップ機能の強化		1,347,034,596	50,960,960
バックアップ施設の整備	相互連絡管の整備等	1,024,030,615	0
非常用電源の確保	高陽浄水場無停電電源装置の整備等	323,003,981	50,960,960
応急対策の推進		35,853,004	3,073,004
応急用資機材の整備	応急給水用資機材の整備	35,853,004	3,073,004

エ 平成 3 0 年 7 月豪雨災害復旧

平成 3 0 年 7 月豪雨災害復旧として事業費 2 億 2、5 6 1 万 6、9 5 5 円で、配水管等復旧工事を行いました。

事 業 内 容	令和 2 年度 事 業 費 (実 績)	うち 今期事業費
	円	円
平成30年 7 月豪雨災害復旧	225,616,955	17,819,993

2 経理の状況

令和 2 年度の経理の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出

令和 2 年度の収益的収入である水道事業収益は、2 4 8 億 3、4 8 6 万 5、4 4 3 円で、令和元年度と比べて 1 3 億 7、2 7 7 万 8、6 4 5 円（5. 2 %）の減少となっています。

また、収益的支出である水道事業費用は、2 3 9 億 2、6 2 6 万 6、0 8 5 円で、令和元年度と比べて 1 億 7、1 9 3 万 5、5 2 1 円（0. 7 %）の減少となっています。

収支差引は 9 億 8 5 9 万 9、3 5 8 円となり、消費税計算によって生ずる消費税及び地方消費税資本的収支調整額等 6 億 1、8 7 9 万 8、3 9 4 円を差し引くと、令和 2 年度は 2 億 8、9 8 0 万 9 6 4 円の純利益となっています。

受水費	2,172,752,175	2,172,752,175	100.0	2,150,039,458	22,712,717	1.1
動力費	1,209,097,367	1,106,771,392	91.5	1,215,408,239	△ 108,636,847	△ 8.9
減価償却費	8,240,791,000	8,207,190,504	99.6	8,219,730,369	△ 12,539,865	△ 0.2
その他	6,060,334,458	5,418,573,058	89.4	5,574,259,326	△ 155,686,268	△ 2.8
営業外費用	2,005,675,000	1,777,049,778	88.6	1,943,123,174	△ 166,073,396	△ 8.5
支払利息及び 企業債取扱諸費	1,165,224,000	1,105,330,772	94.9	1,229,357,816	△ 124,027,044	△ 10.1
その他	840,451,000	671,719,006	79.9	713,765,358	△ 42,046,352	△ 5.9
特別損失	325,545,000	301,042,431	92.5	17,090,161	283,952,270	1,661.5
予備費	10,000,000	0	0.0	0	0	—

収支差引(C) = (A) - (B)	円 364,009,000	円 908,599,358	% 249.6	円 2,109,442,482	円 △ 1,200,843,124	% △ 56.9
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額等(D)	519,392,000	618,798,394	119.1	467,390,034	151,408,360	32.4
純損益(C) - (D)	△ 155,383,000	289,800,964	△ 186.5	1,642,052,448	△ 1,352,251,484	△ 82.4

(2) 資本的収入及び支出

令和2年度の資本的収入は、46億1,592万9,380円で、令和元年度と比べて7億9,625万402円(20.8%)の増加となっています。

また、資本的支出は、134億7,047万340円で、

令和元年度と比べて12億2,996万6,032円(10.0%)の増加となっています。

なお、資本的収入が、資本的支出に対して不足する額88億5,454万960円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填しています。

ア 収入

区 分	令和2年度		執行率	令和元年度	比 較	
	最終予算額	決算額		決算額	増△減	増減率
資 本 的 収 入 (E)	円 8,211,586,000	円 4,615,929,380	% 56.2	円 3,819,678,978	円 796,250,402	% 20.8
企 業 債	7,653,200,000	4,330,500,000	56.6	3,564,000,000	766,500,000	21.5
出 資 金	118,147,000	118,144,988	100.0	101,197,800	16,947,188	16.7
補 助 金	152,944,000	100,832,000	65.9	13,524,000	87,308,000	645.6
受 託 建 設 収 入	148,231,000	25,305,320	17.1	39,670,180	△ 14,364,860	△ 36.2
工 事 負 担 金	134,951,000	41,062,434	30.4	98,653,910	△ 57,591,476	△ 58.4
固 定 資 産 売 却 代 金	4,076,000	0	0.0	2,503,900	△ 2,503,900	皆減
そ の 他 資 本 的 収 入	37,000	84,638	228.8	129,188	△ 44,550	△ 34.5

補 填 額 (F)	円 10,301,330,000	円 8,854,540,960	% 86.0	円 8,420,825,330	円 433,715,630	% 5.2
過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	5,974,000	5,973,822	100.0	5,753,862	219,960	3.8
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	425,777,000	523,364,499	122.9	384,972,668	138,391,831	35.9
建設改良積立金	1,972,593,000	1,451,736,166	73.6	1,535,506,177	△ 83,770,011	△ 5.5
当年度分損益勘定留保資金	6,892,952,000	6,873,466,473	99.7	6,494,592,623	378,873,850	5.8
予算繰越額	1,004,034,000	0	0.0	0	0	—
前年度財源充当額(G)	0	0	—	0	0	—
計 (E) + (F) - (G)	18,512,916,000	13,470,470,340	72.8	12,240,504,308	1,229,966,032	10.0

イ 支出

区 分	令和2年度		執行率	令和元年度	比 較	
	最終予算額	決算額		決算額	増△減	増減率
資 本 的 支 出 (H)	円 18,512,916,000	円 13,470,470,340	% 72.8	円 12,240,504,308	円 1,229,966,032	% 10.0
建設改良費	12,607,935,000	7,678,429,415	60.9	6,589,395,466	1,089,033,949	16.5

	配 水 施 設 整 備 費	11,008,183,000	6,675,725,173	60.6	5,819,803,423	855,921,750	14.7
	浄 水 施 設 整 備 費	1,230,938,000	798,316,291	64.9	517,692,231	280,624,060	54.2
	受 託 建 設 費	143,131,000	24,311,829	17.0	38,677,233	△ 14,365,404	△ 37.1
	諸 設 備 新 設 費 等	225,683,000	180,076,122	79.8	213,222,579	△ 33,146,457	△ 15.5
	企 業 債 償 還 金	5,883,494,000	5,791,946,805	98.4	5,649,389,583	142,557,222	2.5
	補 助 金 返 還 金	21,487,000	94,120	0.4	1,719,259	△ 1,625,139	△ 94.5

3 資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高

令和 3 年 3 月 3 1 日現在の資産、企業債、長期借入金及び一時借入金の現在高は、次のとおりです。

(1) 資産

ア 固定資産	2,068億2,950万 910円
イ 流動資産	133億4,756万5,929円
計	2,201億7,706万6,839円

(2) 企業債 661億1,843万8,958円

(3) 長期借入金 0円（借入れなし。）

(4) 一時借入金 0円（借入れなし。）

4 令和 3 年度予算の概要

水道局では、平成 3 0 年度から令和 3 年度までの 4 年間の「広島市水道事業中期経営計画」を策定し、その中で「安全でおいしい水の供給」、「水道施設の更新・改良」及び「災害対策の充実」を主要施策として掲げ、計画的な施設整備を推進しています。

また、「平成 3 0 年 7 月豪雨災害復旧」を主要施策の一つに加えて、水道施設の改良復旧を図ります。

「安全でおいしい水の供給」については、水質管理体制の強化、安心な水の安定供給及び環境負荷の低減に取り組みます。

「水道施設の更新・改良」については、施設の更新・改良及び管路の更新に取り組みます。

「災害対策の充実」については、水道施設の耐震化、バックアップ機能の強化及び応急対策の推進に取り組みます。

「平成 3 0 年 7 月豪雨災害復旧」については、着実に復旧を実施します。

将来にわたって持続可能な水道システムの構築に向けて、これら主要施策を着実に推進し、給水の安全性・安定性を確保するとともに、より一層効率的な経営に努めていきます。

(1) 年間給水量と一日平均給水量

令和 3 年度の給水量は、年間給水量 1 億 3, 4 3 0 万 1 千立方メートル、一日平均給水量 3 6 万 7, 9 4 8 立方メートルを予定しています。

(2) 主要施策

ア 安全でおいしい水の供給

本施策は、水源からお客さまの蛇口に至るまでの水質管理体制の強化を図るとともに、安心な水を安定的に使用していただけるよう、未配管路線への配水管路の整備や流量・水圧の測定による配水監視体制の充実に取り組みます。

また、豊かな清流である太田川を次世代へ引き継いでいくため「広島市・太田川源流の森」の水源かん養林を整備

するとともに、高効率機器を導入するなど環境に配慮した施設整備による省エネルギーを推進し、環境負荷の低減を図ります。

令和 3 年度は、事業費 1 0 億 6, 3 7 2 万 8 千円で、場内監視設備や未配管路線等へ 2, 6 5 8 メートルの配水管路の整備等を行うとともに、水源かん養林の整備、高効率機器の導入を行う予定です。

イ 水道施設の更新・改良

本施策のうち、施設の更新・改良については、浄水・配水施設の統廃合として、老朽化が進む府中浄水場の廃止に向けた関連整備を推進します。また、構造物や機械及び電気設備は、点検・補修による長寿命化を図った上で、計画的な更新を推進します。さらに、施設の更新に併せて耐震化や維持管理効率の向上を図ります。

また、管路の更新については、点検や漏水防止調査の結果を活用して管路を評価し、優先順位を設定した上で、計画的な更新を推進します。また、実施に当たっては、すべて耐震管を採用し、管路の耐震化を図ります。

令和 3 年度は、事業費 7 9 億 7, 8 7 3 万 3 千円で、施設の統廃合の関連整備や山田第一ポンプ所及び揚水管の更新等を行うとともに、延長 3 万 2 9 1 メートルの铸铁管・ビニル管の更新等を行う予定です。

ウ 災害対策の充実

本施策は、地震による被害を最小限にとどめるため、構造物の耐震化や、災害拠点病院等の重要給水施設への配水管路の耐震化を推進します。

また、事故や災害に備えて配水幹線の相互連絡管等のバックアップ施設を整備するとともに、停電に備えて自家発電設備等により非常用電源を確保します。

さらに、水道施設が被災した直後においても必要最低限の飲料水を確保できるよう応急用資機材等を整備します。

令和 3 年度は、事業費 1 6 億 1, 5 2 2 万 1 千円で、災害拠点病院等への配水管路の耐震化や相互連絡管の整備等を行うとともに、応急給水用資機材の整備を行う予定です。

エ 平成 3 0 年 7 月豪雨災害復旧

本施策は、平成 3 0 年 7 月豪雨災害に係る復旧に当たり、改良復旧を行うとともに、補強等の対策を推進します。

令和 3 年度は事業費 7, 7 9 4 万 7 千円で、配水管等復旧工事を行う予定です。

(3) 収益的収入及び支出

令和 3 年度の収益的収入である水道事業収益は、2 5 6 億

4,036万2千円を計上し、そのうち給水収益で204億5,115万2千円を見込んでいます。なお、水道事業収益は、令和2年度と比べて1億3,793万6千円（0.5%）の増加となっています。

また、収益的支出である水道事業費用は、246億6,870万5千円を計上し、そのうち職員給与費で47億4,823万7千円、支払利息及び企業債取扱諸費で10億2,8

86万9千円を見込んでいます。なお、水道事業費用は、令和2年度と比べて2億838万7千円（0.8%）の減少となっています。

収支差引は9億7,165万7千円となり、消費税計算によって生ずる消費税及び地方消費税資本的収支調整額等5億48万円を差し引いた4億7,117万7千円の純利益を見込んでいます。

ア 収入

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
水 道 事 業 収 益 (A)	千円 25,640,362	% 100.0	千円 25,502,426	% 100.0	千円 137,936	% 0.5
営 業 収 益	22,897,828	89.3	22,601,944	88.6	295,884	1.3
給 水 収 益	20,451,152	79.8	20,654,965	81.0	△ 203,813	△ 1.0
受 託 工 事 収 益	912,710	3.5	430,845	1.7	481,865	111.8
そ の 他 の 営 業 収 益	1,533,966	6.0	1,516,134	5.9	17,832	1.2
営 業 外 収 益	2,721,216	10.6	2,879,145	11.3	△ 157,929	△ 5.5
特 別 利 益	21,318	0.1	21,337	0.1	△ 19	△ 0.1

イ 支出

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
水 道 事 業 費 用 (B)	千円 24,668,705	% 100.0	千円 24,877,092	% 100.0	千円 △ 208,387	% △ 0.8
営 業 費 用	22,842,216	92.6	22,535,872	90.6	306,344	1.4
職 員 給 与 費	4,748,237	19.3	5,114,222	20.6	△ 365,985	△ 7.2
受 水 費	2,129,993	8.6	2,155,391	8.7	△ 25,398	△ 1.2
動 力 費	1,271,588	5.2	1,278,790	5.1	△ 7,202	△ 0.6
減 価 償 却 費	8,256,403	33.5	8,240,791	33.1	15,612	0.2
そ の 他	6,435,995	26.0	5,746,678	23.1	689,317	12.0
営 業 外 費 用	1,800,675	7.3	2,005,675	8.1	△ 205,000	△ 10.2
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	1,028,869	4.2	1,165,224	4.7	△ 136,355	△ 11.7
そ の 他	771,806	3.1	840,451	3.4	△ 68,645	△ 8.2
特 別 損 失	15,814	0.1	325,545	1.3	△ 309,731	△ 95.1
予 備 費	10,000	0.0	10,000	0.0	0	0.0

収 支 差 引 (C) = (A) - (B)	千円 971,657	% —	千円 625,334	% —	千円 346,323	% 55.4
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額等(D)	500,480	—	519,392	—	△ 18,912	△ 3.6
純 損 益 (C) - (D)	471,177	—	105,942	—	365,235	344.7

(4) 資本的収入及び支出

令和3年度の資本的収入は、70億6,635万9千円を計上し、令和2年度と比べて4億4,033万2千円（5.9%）の減少を見込んでいます。

また、資本的支出は、164億6,892万6千円を計上し、令和2年度と比べて3億3,506万1千円（2.0%）の減少を見込んでいます。

なお、資本的収入が、資本的支出に対して不足する額94

億256万7千円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填することとしています。

この結果、令和3年度の予算規模は、411億3,763万1千円で、令和2年度と比べて5億4,344万8千円（1.3%）の減少となっています。

ア 収入

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入 (E)	千円 7,066,359	% 42.9	千円 7,506,691	% 44.7	千円 △ 440,332	% △ 5.9
企 業 債	6,612,200	40.1	7,079,400	42.1	△ 467,200	△ 6.6
出 資 金	93,685	0.6	118,147	0.7	△ 24,462	△ 20.7
補 助 金	28,179	0.2	44,232	0.3	△ 16,053	△ 36.3
受 託 建 設 収 入	156,522	1.0	127,277	0.8	29,245	23.0
工 事 負 担 金	171,697	1.0	133,522	0.8	38,175	28.6
固 定 資 産 売 却 代 金	4,076	0.0	4,076	0.0	0	0.0
そ の 他 資 本 的 収 入	—	0.0	37	0.0	△ 37	皆減

補 填 額 (F)	千円 9,402,567	% 57.1	千円 9,297,296	% 55.3	千円 105,271	% 1.1
過年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	5,705	0.0	5,974	0.0	△ 269	△ 4.5
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	413,446	2.5	425,777	2.5	△ 12,331	△ 2.9
当年度分損益勘定留保資金	6,605,194	40.1	6,892,952	41.1	△ 287,758	△ 4.2
建 設 改 良 積 立 金	2,378,222	14.5	1,972,593	11.7	405,629	20.6
計 (E) + (F)	16,468,926	100.0	16,803,987	100.0	△ 335,061	△ 2.0

イ 支出

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出 (G)	千円 16,468,926	% 100.0	千円 16,803,987	% 100.0	千円 △ 335,061	% △ 2.0
建 設 改 良 費	10,428,124	63.3	10,899,006	64.9	△ 470,882	△ 4.3
配 水 施 設 整 備 費	8,292,288	50.4	9,371,413	55.8	△ 1,079,125	△ 11.5
浄 水 施 設 整 備 費	1,776,666	10.8	1,179,733	7.0	596,933	50.6
受 託 建 設 費	150,801	0.9	122,177	0.7	28,624	23.4
諸 設 備 新 設 費 等	208,369	1.2	225,683	1.4	△ 17,314	△ 7.7
企 業 債 償 還 金	6,019,252	36.6	5,883,494	35.0	135,758	2.3
補 助 金 返 還 金	21,550	0.1	21,487	0.1	63	0.3
予 算 規 模 (B) + (G)	41,137,631	—	41,681,079	—	△ 543,448	△ 1.3

令和 2 年度第 2 回広島市下水道事業の業務状況

1 事業の概況

令和 2 年度における下水道事業の概況は、次のとおりです。

(1) 処理水量等の状況

令和 2 年度下半期（令和 2 年 1 0 月 1 日から令和 3 年 3 月 3 1 日まで）における処理水量は、7,345 万 4,398 立方メートルで、前年度同期の処理水量 7,429 万 163 立方メートルと比較すると、83 万 5,765 立方メートル（1.1%）の減少となっています。

次に、下水道使用料の徴収対象となる有収水量については、5,977 万 751 立方メートルで、前年度同期と比較すると 25 万 280 立方メートル（0.4%）の増加となっています。

水洗化の状況については、整備地区の拡大と普及促進の結果、水洗化世帯数は 54 万 6,025 世帯で、前年度末と比較すると 6,079 世帯（1.1%）の増加となっています。

また、当期末における処理区域内の水洗化率は、98.1% となっています。

処理水量等の比較

区 分	令和 2 年度 下 半 期	令和元年度 下 半 期	比 較	
			増 △ 減	増減率%
処 理 水 量 (m^3)	73,454,398	74,290,163	△ 835,765	△ 1.1
一日平均処理 水量 (m^3)	403,596	405,957	△ 2,362	△ 0.6
有 収 水 量 (m^3)	59,770,751	59,520,471	250,280	0.4
水洗化世帯数 (世帯)	546,025	539,946	6,079	1.1
水 洗 化 率 (%)	98.1	97.9	0.2	—
汚水処理人口 普及率 (%)	97.0	96.8	0.2	—

（注）各数値は、公共下水道に特定環境保全公共下水道、農業集落排水処理施設及び市営浄化槽分を加えたものである。

(2) 工事の状況

ア 公共下水道整備事業

本年度の事業費は、175億5,852万4,361円です。

下水管きよの整備については、総延長2万1,102メートルの布設工事及び改良工事を行い処理区域を拡大しました。

ポンプ場整備については、新千田ポンプ場の建設工事を行うとともに、江波、庚午大洲及び旭町ポンプ場等の改良工事を行いました。

水資源再生センター整備については、西部、千田、江波、旭町水資源再生センターの改良工事を行いました。

イ 排水設備整備事業

本年度は、事業費4億9,474万7,454円で、堀越地区等で管きよの移設工事等を総延長489メートル施工するとともに、管きよの改良、取付管設置等を行いました。

ウ 流域下水道整備事業

本年度は、事業費7,224万7,275円で、広島県が施行する太田川流域下水道整備事業に対する負担金を支払いました。

エ 市街化区域外污水处理施設整備事業

本年度の事業費は、8億3,287万6,028円です。
特定環境保全公共下水道整備として、安佐、可部、石内

地区等で下水管きよを総延長1,536メートル布設しました。

農業集落排水処理施設整備として、戸山地区等で下水管きよを総延長2,574メートル布設しました。

市営浄化槽整備として、浄化槽10箇所の整備を行いました。

2 経理の状況

令和2年度の経理の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収入及び支出

本年度の収益的収入は、447億6,243万6,912円で前年度と比較すると、9億5,966万9,322円（2.1％）の減少となっています。

この主な理由は、下水道使用料が減少したことによるものです。

次に、収益的支出は、425億7,857万6,576円で前年度と比較すると、10億5,959万5,975円（2.4％）の減少となっています。

この主な理由は、支払利息及び企業債取扱諸費が減少したことによるものです。

なお、収益的収入と収益的支出の差引き21億8,386万336円から消費税及び地方消費税資本的収支調整額を除いた純利益は、11億9,860万5,497円となっています。

収 入

区 分	令 和 2 年 度		執行率	令和元年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決 算 額			増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 収 益 (A)	円 45,979,641,000	円 44,762,436,912	% 97.4	円 45,722,106,234	円 △ 959,669,322	% △ 2.1
営 業 収 益	36,280,821,000	35,054,438,390	96.6	35,803,166,677	△ 748,728,287	△ 2.1
下 水 道 使 用 料	21,956,545,000	20,860,649,942	95.0	21,527,896,234	△ 667,246,292	△ 3.1
一 般 会 計 負 担 金	14,119,224,000	14,017,872,562	99.3	14,070,085,361	△ 52,212,799	△ 0.4
そ の 他 営 業 収 益	205,052,000	175,915,886	85.8	205,185,082	△ 29,269,196	△ 14.3
営 業 外 収 益	9,695,944,000	9,691,570,059	100.0	9,792,280,741	△ 100,710,682	△ 1.0
受 取 利 息	117,000	162,051	138.5	442,274	△ 280,223	△ 63.4
国 庫 補 助 金	0	0	—	3,627,118	△ 3,627,118	皆減
負 担 金	89,388,000	89,460,875	100.1	95,751,364	△ 6,290,489	△ 6.6
一 般 会 計 補 助 金	69,765,000	71,000,911	101.8	141,450,266	△ 70,449,355	△ 49.8
長 期 前 受 金 戻 入	9,512,193,000	9,503,873,595	99.9	9,496,098,511	7,775,084	0.1
雑 収 益	24,481,000	27,072,627	110.6	54,911,208	△ 27,838,581	△ 50.7
特 別 利 益	2,876,000	16,428,463	571.2	126,658,816	△ 110,230,353	△ 87.0
固 定 資 産 売 却 益	0	11,767,688	—	0	11,767,688	皆増
過 年 度 損 益 修 正 益	2,876,000	2,542,995	88.4	7,442,213	△ 4,899,218	△ 65.8
長 期 前 受 金 戻 入 益	0	0	—	117,023,043	△ 117,023,043	皆減
そ の 他 特 別 利 益	0	2,117,780	—	2,193,560	△ 75,780	△ 3.5

支 出

区 分	令 和 2 年 度		執行率	令和元年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決 算 額			増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 費 用 (B)	円 43,670,831,000	円 42,578,576,576	% 97.5	円 43,638,172,551	円 △ 1,059,595,975	% △ 2.4

営 業 費 用	36,891,213,000	36,424,799,346	98.7	36,497,888,349	△ 73,089,003	△ 0.2
人 件 費	2,650,849,000	2,489,418,596	93.9	2,510,865,564	△ 21,446,968	△ 0.9
動 力 費	561,790,939	546,130,479	97.2	608,674,293	△ 62,543,814	△ 10.3
減 価 償 却 費	26,345,084,000	26,280,309,148	99.8	26,177,211,378	103,097,770	0.4
そ の 他	7,333,489,061	7,108,941,123	96.9	7,201,137,114	△ 92,195,991	△ 1.3
営 業 外 費 用	6,745,217,000	6,147,305,842	91.1	6,963,766,215	△ 816,460,373	△ 11.7
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	6,079,682,675	5,723,124,849	94.1	6,418,374,270	△ 695,249,421	△ 10.8
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	665,137,000	423,800,668	63.7	544,223,048	△ 120,422,380	△ 22.1
雑 支 出	397,325	380,325	95.7	1,168,897	△ 788,572	△ 67.5
特 別 損 失	14,401,000	6,471,388	44.9	176,517,987	△ 170,046,599	△ 96.3
予 備 費	20,000,000	0	0.0	0	0	—

収 支 差 引 (C) = (A) - (B)	円 2,308,810,000	円 2,183,860,336	% 94.6	円 2,083,933,683	円 99,926,653	% 4.8
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額 (D)	811,647,000	985,254,839	121.4	709,996,341	275,258,498	38.8
純 損 益 (C) - (D)	1,497,163,000	1,198,605,497	80.1	1,373,937,342	△ 175,331,845	△ 12.8

(2) 資本的収入及び支出

本年度の資本的収入は、４３５億１４７万９、２０４円で前年度と比較すると、５１億１、７８１万５７９円（１３．３％）の増加となっています。

この主な理由は、借換債が増加したことによるものです。

次に、資本的支出は、６２９億３、７７７万２、９４５円で前年度と比較すると、４８億１、７１４万６、４１８円（８．

３％）の増加となっています。

この主な理由は、公共下水道整備費が増加したことによるものです。

なお、資本的収入（翌年度繰越充当財源額４億７、２０７万６、８０７円を除く。）が、資本的支出に対して不足する額１９９億８３７万５４８円は、当年度分損益勘定留保資金等で補填することとしています。

収 入

区 分	令 和 2 年 度		執行率	令和元年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決 算 額			増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入 (A)	円 54,563,084,000	円 43,501,479,204	% 79.7	円 38,383,668,625	円 5,117,810,579	% 13.3
建 設 企 業 債	24,862,100,000	18,334,900,000	73.7	16,619,400,000	1,715,500,000	10.3
借 換 債	13,340,600,000	13,340,600,000	100.0	11,334,400,000	2,006,200,000	17.7
一 般 会 計 出 資 金	5,111,287,000	4,761,666,235	93.2	4,792,441,553	△ 30,775,318	△ 0.6
国 庫 補 助 金	10,660,318,000	6,519,544,920	61.2	5,057,746,468	1,461,798,452	28.9
工 事 受 託 金	78,280,000	45,841,666	58.6	55,441,445	△ 9,599,779	△ 17.3
受 益 者 負 担 金	16,998,000	16,113,114	94.8	14,656,535	1,456,579	9.9
受 益 者 分 担 金	64,816,000	49,683,501	76.7	50,650,980	△ 967,479	△ 1.9
工 事 負 担 金	397,077,000	400,775,720	100.9	412,946,792	△ 12,171,072	△ 2.9
一 般 会 計 借 入 金	1,467,000	0	—	0	0	—
貸 付 金 回 収 金	25,049,000	17,140,000	68.4	26,943,000	△ 9,803,000	△ 36.4
固 定 資 産 売 却 代 金	5,092,000	15,214,048	298.8	19,041,852	△ 3,827,804	△ 20.1
翌 年 度 繰 越 充 当 財 源 額 (B)	0	472,076,807	—	525,226,520	△ 53,149,713	△ 10.1
補 填 額 (C)	19,785,341,520	19,908,370,548	100.6	20,262,184,422	△ 353,813,874	△ 1.7
当 年 度 分 消 費 税 及 び 地 方 消 費 税 資 本 的 収 支 調 整 額	811,647,000	985,254,839	121.4	709,996,341	275,258,498	38.8
繰 越 工 事 資 金	525,226,520	525,226,520	100.0	650,554,231	△ 125,327,711	△ 19.3
当 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	17,069,566,000	17,018,987,072	99.7	17,058,260,967	△ 39,273,895	△ 0.2
減 債 積 立 金	1,378,902,000	1,378,902,117	100.0	1,843,372,883	△ 464,470,766	△ 25.2
計 (A) - (B) + (C)	74,348,425,520	62,937,772,945	84.7	58,120,626,527	4,817,146,418	8.3

支 出

区 分	令 和 2 年 度		執行率	令和元年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決 算 額			増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出	円 74,348,425,520	円 62,937,772,945	% 84.7	円 58,120,626,527	円 4,817,146,418	% 8.3
建設改良費	30,462,275,520	19,067,078,431	62.6	15,378,159,307	3,688,919,124	24.0
公共下水道整備費	27,779,090,840	17,558,524,361	63.2	14,289,907,194	3,268,617,167	22.9
受益者負担金業務費	18,018,000	12,172,246	67.6	13,959,329	△ 1,787,083	△ 12.8
排水設備整備費	835,230,911	494,747,454	59.2	504,574,495	△ 9,827,041	△ 1.9
都市下水路整備費	0	0	—	173,334	△ 173,334	皆減
流域下水道整備費	197,208,000	72,247,275	36.6	98,141,759	△ 25,894,484	△ 26.4
諸設備新設改良費	104,184,502	94,711,067	90.9	85,465,240	9,245,827	10.8
建設利息	4,800,000	1,800,000	37.5	3,100,000	△ 1,300,000	△ 41.9
市街化区域外汚水 処理施設整備費	1,523,743,267	832,876,028	54.7	382,837,956	450,038,072	117.6
償 還 金	43,858,506,000	43,857,273,514	100.0	42,724,823,220	1,132,450,294	2.7
企業債償還金	43,671,390,000	43,670,157,514	100.0	42,553,300,220	1,116,857,294	2.6
企業債償還積立金	187,116,000	187,116,000	100.0	171,523,000	15,593,000	9.1
貸 付 金	16,761,000	2,538,000	15.1	10,701,000	△ 8,163,000	△ 76.3
水洗便所改造資金貸付金	9,327,000	520,000	5.6	6,377,000	△ 5,857,000	△ 91.8
し尿浄化槽廃止資金貸付金	7,434,000	2,018,000	27.1	4,324,000	△ 2,306,000	△ 53.3
一般会計借入金償還金	10,883,000	10,883,000	100.0	6,943,000	3,940,000	56.7
水洗便所改造資金 貸付借入金償還金	9,391,000	9,391,000	100.0	6,186,000	3,205,000	51.8
し尿浄化槽資金 貸付借入金償還金	1,492,000	1,492,000	100.0	757,000	735,000	97.1

3 資産及び企業債の状況

下水道事業の令和3年3月31日現在の資産及び企業債の状況は、次のとおりです。

(1) 資産の状況

ア 固定資産	7,861億2,754万7,944円
イ 流動資産	139億 148万8,507円
計	8,000億2,903万6,451円

(2) 企業債の状況 3,955億2,530万1,517円

4 令和3年度予算の概要

下水道の整備については、市民のより良い生活環境の確保と公共用水域の水質保全を図るための都市基盤整備の一環として、最重点施策の一つに位置付けており、鋭意これを推進しているところです。

下水道の建設には多額の資金を要し、その財源の大半を企業債に依存していることから、多額の企業債の償還が続くとともに、施設の増加等により維持管理費も増加傾向ですが、本年度も一層計画的、効率的な下水道の整備と維持管理に努めます。

(1) 主要な建設改良事業

ア 公共下水道整備事業

本年度は、137億3,973万円の事業費を計上しています。

下水管きよの布設については、中山、福田、二葉の里、青崎、祇園、安佐、可部、亀山、狩留家地区等で整備を行

うこととしています。

水資源再生センターについては、千田、旭町、西部及び江波水資源再生センターの整備を行うこととしています。

イ 排水設備整備事業

本年度は、事業費5億7,780万円で、他事業との関連による管きよの移設及び管きよ施設の適切な維持管理のための改良等を行うこととしています。

ウ 流域下水道整備事業

本年度は、事業費7,828万8千円で、広島県が施行する太田川流域下水道整備事業に対し、その費用の一部を負担することとしています。

エ 市街化区域外汚水処理施設整備事業

本年度は、8億3,682万8千円の事業費を計上しています。

特定環境保全公共下水道整備として、安佐、可部、湯来、石内地区の下水管きよの布設整備を行うこととしています。

農業集落排水処理施設整備として、戸山、白木地区の下水管きよの布設を行うこととしています。

市営浄化槽整備として、浄化槽30箇所の整備を行うこととしています。

(2) 収益的収入及び支出

収益的収支は、下水道使用料等の収益と下水道事業活動に伴い必要となる維持管理費等の費用を計上しています。この

うち収入は、下水道使用料210億1,869万2千円を含む総額451億3,176万3千円を見込んでいます。

一方、支出は、維持管理費、企業債利息等により総額437億5,120万1千円を見込んでいます。

(3) 資本的収入及び支出

資本的収支は、施設の建設及び企業債の元金償還等に係る経費と、これらに必要な国庫補助金、企業債収入等の財源を計上しています。

このうち、建設企業債等の収入総額406億3,858万

2千円に対して、公共下水道整備費等の支出総額は601億8,246万3千円となっており、195億4,388万1千円の不足が生ずる見込みですが、この不足分については、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額、当年度分損益勘定留保資金等で補填することとしています。

以上の結果、本年度の当初予算規模は1,039億3,366万4千円となり、前年度当初予算に比較して4億8,485万4千円（0.5%）の減少となっています。

(4) 予算性質別比較表

ア 収益的収入及び支出

収 入

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 収 益 (A)	千円 45,131,763	% 100.0	千円 45,979,641	% 100.0	千円 △ 847,878	% △ 1.8
営 業 収 益	35,256,938	78.2	36,280,821	78.9	△ 1,023,883	△ 2.8
下 水 道 使 用 料	21,018,692	46.6	21,956,545	47.8	△ 937,853	△ 4.3
一 般 会 計 負 担 金	14,028,460	31.1	14,119,224	30.7	△ 90,764	△ 0.6
そ の 他 営 業 収 益	209,786	0.5	205,052	0.4	4,734	2.3
営 業 外 収 益	9,871,949	21.8	9,695,944	21.1	176,005	1.8
受 取 利 息	84	0.0	117	0.0	△ 33	△ 28.2
負 担 金	70,929	0.1	89,388	0.2	△ 18,459	△ 20.7
一 般 会 計 補 助 金	157	0.0	69,765	0.1	△ 69,608	△ 99.8
長 期 前 受 金 戻 入	9,777,274	21.7	9,512,193	20.7	265,081	2.8
雑 収 益	23,505	0.0	24,481	0.1	△ 976	△ 4.0
特 別 利 益	2,876	0.0	2,876	0.0	0	0.0
過 年 度 損 益 修 正 益	2,876	0.0	2,876	0.0	0	0.0

支 出

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
下 水 道 事 業 費 用 (B)	千円 43,751,201	% 100.0	千円 43,670,831	% 100.0	千円 80,370	% 0.2
営 業 費 用	37,740,070	86.3	36,891,213	84.5	848,857	2.3
人 件 費	2,629,958	6.0	2,625,674	6.0	4,284	0.2
委 託 費	4,548,651	10.4	4,456,049	10.2	92,602	2.1
維 持 補 修 費	1,194,090	2.7	1,050,439	2.4	143,651	13.7
動 力 費	487,834	1.1	538,814	1.2	△ 50,980	△ 9.5
薬 品 費	88,341	0.2	92,513	0.2	△ 4,172	△ 4.5
物 件 費 そ の 他	1,569,968	3.6	1,545,965	3.6	24,003	1.6
減 価 償 却 費	26,596,588	60.8	26,345,084	60.3	251,504	1.0
資 産 減 耗 費	624,640	1.5	236,675	0.6	387,965	163.9
営 業 外 費 用	5,982,874	13.7	6,745,217	15.4	△ 762,343	△ 11.3
支 払 利 息 及 び 企 業 債 取 扱 諸 費	5,339,614	12.2	6,080,063	13.9	△ 740,449	△ 12.2
消 費 税 及 び 地 方 消 費 税	643,243	1.5	665,137	1.5	△ 21,894	△ 3.3
雑 支 出	17	0.0	17	0.0	0	0.0
特 別 損 失	8,257	0.0	14,401	0.0	△ 6,144	△ 42.7
予 備 費	20,000	0.0	20,000	0.1	0	0.0

収 支 差 引 (C) = (A) - (B)	千円 1,380,562	% —	千円 2,308,810	% —	千円 △ 928,248	% △ 40.2
当年度分消費税及び地方 消費税資本の収支調整額(D)	731,160	—	811,647	—	△ 80,487	△ 9.9
純 損 益 (C) - (D)	649,402	—	1,497,163	—	△ 847,761	△ 56.6

イ 資本の収入及び支出

収 入

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入	千円 40,638,582	% 67.5	千円 41,487,572	% 68.3	千円 △ 848,990	% △ 2.0
建設企業債	15,354,500	25.5	17,081,900	28.1	△ 1,727,400	△ 10.1
借 換 債	15,840,900	26.3	13,340,600	22.0	2,500,300	18.7
一般会計出資金	3,708,020	6.2	5,111,287	8.4	△ 1,403,267	△ 27.5
国庫補助金	4,845,872	8.1	5,365,006	8.8	△ 519,134	△ 9.7
工事受託金	66,087	0.1	78,280	0.1	△ 12,193	△ 15.6
受益者負担金	16,959	0.0	16,998	0.0	△ 39	△ 0.2
受益者分担金	47,820	0.1	64,816	0.1	△ 16,996	△ 26.2
工事負担金	689,360	1.1	397,077	0.7	292,283	73.6
一般会計借入金	0	—	1,467	0.0	△ 1,467	皆減
貸付金回収金	23,409	0.0	25,049	0.1	△ 1,640	△ 6.5
土地売却代金	45,655	0.1	5,092	0.0	40,563	796.6
補 填 額	19,543,881	32.5	19,260,115	31.7	283,766	1.5
当年度分消費税及び地方 消費税資本の収支調整額	731,160	1.2	811,647	1.3	△ 80,487	△ 9.9
当年度分損益勘定 留 保 資 金	17,438,784	29.0	17,069,566	28.1	369,218	2.2
減 債 積 立 金	1,373,937	2.3	1,378,902	2.3	△ 4,965	△ 0.4
計 (A)	60,182,463	100.0	60,747,687	100.0	△ 565,224	△ 0.9

支 出

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額	構成比	当初予算額	構成比	増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出 (B)	千円 60,182,463	% 100.0	千円 60,747,687	% 100.0	千円 △ 565,224	% △ 0.9
建設改良費	15,312,715	25.5	16,861,537	27.8	△ 1,548,822	△ 9.2
公共下水道整備費	13,739,730	22.8	14,962,855	24.7	△ 1,223,125	△ 8.2
受益者負担金業務費	18,912	0.1	18,018	0.0	894	5.0
排水設備整備費	577,800	1.0	494,291	0.8	83,509	16.9
流域下水道整備費	78,288	0.1	197,208	0.3	△ 118,920	△ 60.3
諸設備新設改良費	60,657	0.1	95,247	0.2	△ 34,590	△ 36.3
建設利息	500	0.0	4,800	0.0	△ 4,300	△ 89.6
市街化区域外汚水 処理施設整備費	836,828	1.4	1,089,118	1.8	△ 252,290	△ 23.2
償 還 金	44,848,785	74.5	43,858,506	72.2	990,279	2.3
企業債償還金	44,848,785	74.5	43,671,390	71.9	1,177,395	2.7
企業債償還積立金	0	0.0	187,116	0.3	△ 187,116	皆減
貸 付 金	17,111	0.0	27,644	0.0	△ 10,533	△ 38.1
水洗便所改造資金貸付金	10,479	0.0	18,072	0.0	△ 7,593	△ 42.0
し尿浄化槽廃止資金貸付金	6,632	0.0	9,572	0.0	△ 2,940	△ 30.7
一般会計借入金償還金	3,852	0.0	0	—	3,852	皆増
収 支 差 引 (A) - (B)	0	—	0	—	0	—

令和 2 年度第 2 回広島市安芸市民病院事業の業務状況

1 事業の概況

令和 2 年度下半期（自令和 2 年 1 0 月 1 日至令和 3 年 3 月 3 1 日）における広島市安芸市民病院事業の概況は、次のとおりです。

(1) 患者の利用状況

今期の入院患者の延数は 2 4, 0 9 6 人で、前年同期に比べ 2 8 0 人（1. 1 %）の減少となりました。

また、外来患者の延数は 1 8, 2 3 6 人で、前年同期に比べ 3, 2 6 6 人（1 5. 2 %）の減少となりました。

患者数の比較

年度		令和 2 年度 下 半 期	令和元年度 下 半 期	比 較	
区分				増 △ 減	増減率
入院	人			人	%
	延数	24,096	24,376	△ 280	△ 1.1
	一日平均	132.4	133.2	△ 0.8	△ 0.6
	延数	18,236	21,502	△ 3,266	△ 15.2

外来	一日平均	152.0	180.7	△ 28.7	△ 15.9
	延数	42,332	45,878	△ 3,546	△ 7.7
合計	一日平均	284.4	313.9	△ 29.5	△ 9.4

(2) 工事の状況

今期の工事の状況は、該当ありません。

(3) 備品の整備状況

今期の備品の整備の状況は、該当ありません。

2 経理の状況

令和 2 年度の予算執行状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

今年度の収益的収入は 2 0 億 7, 2 9 4 万 7, 8 7 1 円で、予算額に対する執行率は 9 6. 6 % で、前年度決算額に比べ 2. 3 % の減少となりました。

また、収益的支出は 2 0 億 7, 0 9 6 万 8, 9 7 2 円で、予算額に対する執行率は 9 6. 6 % で、前年度決算額に比べ 2. 5 % の減少となりました。

収 入

区 分		令 和 2 年 度			令和元年度 決 算 額	比 較	
		最終予算額	決算見込額	執行率		増 △ 減	増減率
病 院 事 業 収 益 (A)		円 2,145,559,000	円 2,072,947,871	% 96.6	円 2,121,784,382	円 △ 48,836,511	% △ 2.3
	医 業 収 益	1,897,298,000	1,857,239,981	97.9	1,895,891,319	△ 38,651,338	△ 2.0
	入 院 収 益	1,359,016,000	1,409,088,051	103.7	1,406,430,880	2,657,171	0.2
	外 来 収 益	440,091,000	368,774,483	83.8	393,198,331	△ 24,423,848	△ 6.2
	そ の 他 医 業 収 益	98,191,000	79,377,447	80.8	96,262,108	△ 16,884,661	△ 17.5
	医 業 外 収 益	248,260,000	213,638,471	86.1	223,254,763	△ 9,616,292	△ 4.3
特 別 利 益		1,000	2,069,419	—	2,638,300	△ 568,881	△ 21.6

支 出

区 分		令 和 2 年 度			令和元年度 決 算 額	比 較	
		最終予算額	決算見込額	執行率		増 △ 減	増減率
病 院 事 業 費 (B)		円 2,144,824,000	円 2,070,968,972	% 96.6	円 2,124,108,866	円 △ 53,139,894	% △ 2.5
	医 業 費 用	2,103,812,000	2,040,563,490	97.0	2,086,049,247	△ 45,485,757	△ 2.2
	給 与 費	11,280,000	8,726,360	77.4	9,757,893	△ 1,031,533	△ 10.6
	経 費	1,984,690,000	1,934,543,703	97.5	1,966,346,154	△ 31,802,451	△ 1.6
	そ の 他	107,842,000	97,293,427	90.2	109,945,200	△ 12,651,773	△ 11.5
	医 業 外 費 用	33,012,000	29,766,437	90.2	31,433,233	△ 1,666,796	△ 5.3
特 別 損 失		3,000,000	639,045	21.3	6,626,386	△ 5,987,341	△ 90.4
予 備 費		5,000,000	0	0.0	0	0	—
収 支 差 引 (A) — (B)		735,000	1,978,899	269.2	△ 2,324,484	4,303,383	185.1

(2) 資本的収支の状況

今年度の資本的収入は 1 億 1, 3 1 3 万 3, 9 3 8 円で、予算額に対する執行率は 9 5. 4 % で、前年度決算額に比べ 3. 3 % の減少となりました。

また、資本的支出は 1 億 5, 9 9 8 万 3, 9 3 8 円で、予算額に対する執行率は 9 6. 7 % で、前年度決算額に比べ 1 0. 2 % の減少となりました。

収 入

区 分	令 和 2 年 度			令和元年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決算見込額	執行率		増 △ 減	増減率
資 本 的 収 入 (A)	円 118,634,000	円 113,133,938	% 95.4	円 116,985,093	円 △ 3,851,155	% △ 3.3
企 業 債	5,500,000	0	0.0	13,400,000	△ 13,400,000	皆減
負 担 金	113,134,000	113,133,938	100.0	103,585,093	9,548,845	9.2
補 填 額 (B)	46,850,000	46,850,000	100.0	61,195,480	△ 14,345,480	△ 23.4
前年度財源充当額又は当年度 同意済企業債未発行分	0	0	—	0	0	—
当年度分消費税及び地方 消費税資本的収支調整額	148,000	0	0.0	51,640	△ 51,640	皆減
過 年 度 分 損 益 勘 定 留 保 資 金	46,702,000	46,850,000	100.3	61,143,840	△ 14,293,840	△ 23.4
計 (A) + (B)	165,484,000	159,983,938	96.7	178,180,573	△ 18,196,635	△ 10.2

支 出

区 分	令 和 2 年 度			令和元年度 決 算 額	比 較	
	最終予算額	決算見込額	執行率		増 △ 減	増減率
資 本 的 支 出	円 165,484,000	円 159,983,938	% 96.7	円 178,180,573	円 △ 18,196,635	% △ 10.2
建 設 改 良 費	5,500,000	0	0.0	13,470,480	△ 13,470,480	皆減
改 良 費	0	0	—	3,625,480	△ 3,625,480	皆減
資 産 購 入 費	5,500,000	0	0.0	9,845,000	△ 9,845,000	皆減
企 業 債 償 還 金	159,984,000	159,983,938	100.0	164,710,093	△ 4,726,155	△ 2.9

3 資産、企業債及び長期借入金の現在高

令和3年3月31日現在の資産、企業債及び長期借入金の現在高は、次表のとおりです。

区 分		金 額
資産の現在高	固 定 資 産	円 2,384,476,142
	流 動 資 産	478,421,877
	計	2,862,898,019
企 業 債 の 現 在 高		1,272,302,928
長 期 借 入 金 の 現 在 高		41,908,733

4 令和3年度予算の状況

令和3年度予算の状況は、次のとおりです。

(1) 収益的収支の状況

収益的収入は、21億7,159万円で、前年度当初予算額に比べ2,603万1千円（1.2％）増収の見込みとなっています。

内訳は、入院収益として14億1,413万1千円、外来収益として4億2,688万円、特別病室使用料その他医業収益として9,643万5千円、負担金交付金等医業外収益及び特別利益として2億3,414万4千円を計上しています。

次に、収益的支出は、前年度当初予算額に比べ2,556万2千円（1.2％）増加の21億7,038万6千円を計上しています。

内訳は、給与費として1,146万6千円、診療報酬交付金等の経費として20億3,085万3千円、減価償却費等その他の医業費用として8,901万7千円、企業債利息等医業外費用として3,105万円、特別損失及び予備費として800万円を計上しています。

なお、令和3年度は、収支差引で120万4千円の純利益を見込んでいます。

収 入

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額 a	構成比	当初予算額 b	構成比	増 △ 減 a－b	増減率
病 院 事 業 収 益 (A)	千円 2,171,590	% 100.0	千円 2,145,559	% 100.0	千円 26,031	% 1.2
医 業 収 益	1,937,446	89.2	1,897,298	88.4	40,148	2.1
入 院 収 益	1,414,131	65.1	1,359,016	63.3	55,115	4.1
外 来 収 益	426,880	19.7	440,091	20.5	△ 13,211	△ 3.0
そ の 他 医 業 収 益	96,435	4.4	98,191	4.6	△ 1,756	△ 1.8

医 業 外 収 益	232,968	10.7	248,260	11.6	△ 15,292	△ 6.2
特 別 利 益	1,176	0.1	1	0.0	1,175	—

支 出

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額 a	構成比	当初予算額 b	構成比	増 △ 減 a - b	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
病 院 事 業 費 (B)	2,170,386	100.0	2,144,824	100.0	25,562	1.2
医 業 費 用	2,131,336	98.2	2,103,812	98.1	27,524	1.3
給 与 費	11,466	0.5	11,280	0.5	186	1.6
経 費	2,030,853	93.6	1,984,690	92.6	46,163	2.3
そ の 他	89,017	4.1	107,842	5.0	△ 18,825	△ 17.5
医 業 外 費 用	31,050	1.4	33,012	1.5	△ 1,962	△ 5.9
特 別 損 失	3,000	0.2	3,000	0.2	0	0.0
予 備 費	5,000	0.2	5,000	0.2	0	0.0
収 支 差 引 (A) - (B)	1,204	—	735	—	469	63.8

(2) 資本的収支の状況

資本的収入は1億9,156万9千円で、前年度当初予算額に比べ7,293万5千円（61.5％）の増加となっています。

内訳は、改良費に充てるための企業債7,750万円、企業債元金償還金に対する一般会計負担金1億1,406万9

千円となっています。

次に、資本的支出は2億3,514万4千円で、前年度当初予算額に比べ6,966万円（42.1％）の増加となっています。

内訳は、改良費7,750万円、企業債償還金1億5,764万4千円となっています。

収 入

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額 a	構成比	当初予算額 b	構成比	増 △ 減 a - b	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
資 本 的 収 入 (A)	191,569	81.5	118,634	71.7	72,935	61.5
企 業 債	77,500	33.0	5,500	3.3	72,000	1,309.1
負 担 金	114,069	48.5	113,134	68.4	935	0.8
補 填 額 (B)	43,575	18.5	46,850	28.3	△ 3,275	△ 7.0
当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額	83	0.0	148	0.1	△ 65	△ 43.9
過年度分損益勘定留保資金	43,492	18.5	46,702	28.2	△ 3,210	△ 6.9
計 (C) = (A) + (B)	235,144	100.0	165,484	100.0	69,660	42.1

支 出

区 分	令 和 3 年 度		令 和 2 年 度		比 較	
	当初予算額 a	構成比	当初予算額 b	構成比	増 △ 減 a - b	増減率
	千円	%	千円	%	千円	%
資 本 的 支 出 (D)	235,144	100.0	165,484	100.0	69,660	42.1
建 設 改 良 費	77,500	33.0	5,500	3.3	72,000	1,309.1
改 良 費	77,500	33.0	0	0.0	77,500	皆増
資 産 購 入 費	0	0.0	5,500	3.3	△ 5,500	皆減
企 業 債 償 還 金	157,644	67.0	159,984	96.7	△ 2,340	△ 1.5
収 支 差 引 (C) - (D)	0	—	0	—	0	—